

吹田 豊津地区



●特徴的な課題

吹田・豊津地区では、JR吹田駅の駅前広場(南側)から駅への円滑な移動経路の確保が大きな課題です。
また、中央図書館や市民会館などまでの経路である出口町4号線、出口町9号線は、勾配がきつくなっています。
加えて、府道豊中吹田線や阪急吹田駅北側地下道のバリアフリー化など、市道以外にも様々な課題があります。

●特徴的な課題の整備方針

JR吹田駅前広場(南側)については、全面的に改築しロータリー化することが一番望ましいです。しかし、全面改築には、かなりの工事期間と費用がかかるため、短期案・中期案(1期)・中期案(2期)・長期案の4段階に分け、徐々にバリアフリー化整備を進めていくこととしています。なお、平成22年(2010年)度には、中期案(2期)までの整備完了をめざしています。

出口町4号線、出口町9号線については、ワークショップでの意見をもとに、エレベーター整備ではなく、施設巡回バスの運営を検討することとなりました。
府道豊中吹田線や阪急吹田駅北側地下道のバリアフリー化などについては、今後引き続き府道路管理者が検討を進め、平成17年度にはその整備方針を決定する予定です。

出口町9号線

- ・有効幅員を確保した歩道を片側に設置
- ・施設巡回バスの運行を検討

出口町4号線

- ・歩道中央部に設置されている柵を撤去し、歩道有効幅員を確保
- ・施設巡回バスの運行を検討
- ・道路縦断勾配の調整
- ・電線を地中化して歩道有効幅員を確保

片山町31号線

- ・車道幅員を調整して歩道有効幅員を確保
- ・電柱、標識、信号柱等の移設により歩道有効幅員を確保

朝日が丘片山線

坂道休憩施設(スペース)の設置

片山高浜線

視覚障害者誘導用ブロックの整備

吹田駅前線

駅前広場整備として一体的に整備

朝日町1号線

車道の幅員調整して歩道有効幅員を確保

朝日町2号線

横断歩道等との切下げ部に平坦部を設置

岸部中内本町線

横断歩道等との切下げ部に平坦部を設置

吹田駅前線

案内標識の整備

⑥出口町1号線

- ・植樹帯の改良により歩道有効幅員を確保
- ・車止めの移設・撤去により歩道有効幅員を確保

⑦片山町21号線

- ・横断防止柵、標識、信号柱等の移設により歩道有効幅員を確保
- ・車止めの移設・撤去により歩道有効幅員を確保

①朝日が丘町6号線

路面表示で歩道機能を確保

②岸部南吹田線

- ・側溝蓋設置により歩道有効幅員を確保
- ・植樹帯の改良により歩道有効幅員を確保
- ・電柱の移設・撤去により歩道有効幅員を確保

③昭和町5号線

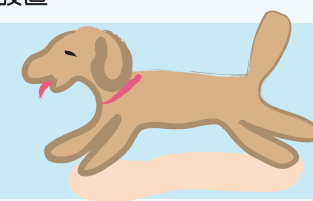
路面表示で歩道機能を確保

④垂水町32号線

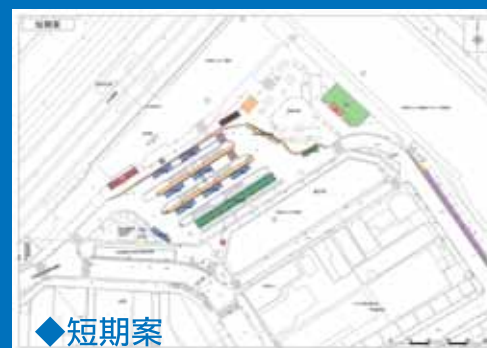
有効幅員を確保した歩道を片側に整備

⑤垂水町41号線

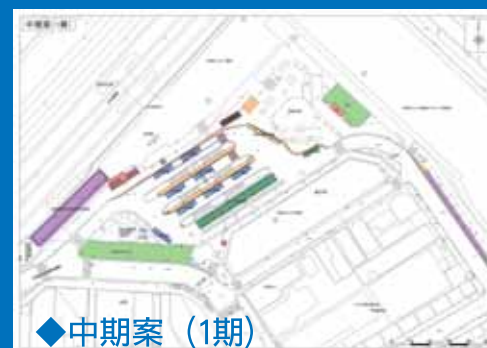
視覚障害者誘導用ブロックの設置



【JR吹田駅整備案】



◆短期案



◆中期案(1期)



◆中期案(2期)



◆将来的イメージ

穂波芳野線

植樹帯の改良により歩道有効幅員を確保

中の島川岸線

道路照明施設の整備

